

経済学部経済学科 教育課程編成・実施の方針

経済学部では、学位授与の方針で示した「学修成果」を実現するため、以下に示す教育課程を編成し、実施します。

【カリキュラムの全体構成】

経済学部の教育課程は、「教育研究上の目的（理念・目的）」に基づき、以下に示すカリキュラムの概念図のように、幅広く深い教養と総合的な判断力を養うことを目的とする「全学共通科目」と、専門的知識だけではなく、国際社会に通用する能力の育成を目指す「学部固有科目」から構成されます。

【全学共通科目の構成と特徴】

<全学共通科目の教育課程編成の方針を参照>

		1年		2年		3年		4年	
		第1セメ	第2セメ	第3セメ	第4セメ	第5セメ	第6セメ	第7セメ	第8セメ
全学共通科目		全学共通科目							
学部固有科目 (専門教育課程)	専門科目	共通科目							
		経済学関連科目							
				経済分析科目					
				政策科目					
				国際経済科目					
		演習科目			演習科目				
	ジェネリック・スキル科目	表現力科目							
		語学力科目							
		海外経験科目							
				EXP科目					

【学部固有科目の構成】

経済学部の専門教育課程の卒業要件単位は80単位であり、学部固有科目は、「専門科目」と「ジェネリック・スキル科目」から構成されます。「専門科目」は、基礎から、基幹、展開と段階的に専門性を積み上げるカリキュラムとなっており、経済の仕組みを正しく理解した上で、専門知識と理論を学修します。個々の科目は相互の関連性により、さらに「経済分析」「政策」「国際経済」の3つの科目群及び「共通科目」に分けられ、系統的な履修ができます。「ジェネリック・スキル科目」は、表現力、語学力、海外経験、EXP（エグゼクティブ・プログラム）からなり、経済の専門知識・理論を効果的に修得し、実践するための汎用な能力を養うことができます。

【科目群の構成】

各科目群は、カリキュラムマップ(別紙)に示す複数の科目によって構成され、各科目群では、主として以下の能力を身につけることを学修目標とします。

共通科目群	: 経済学の基本的な考え方や理論を理解する能力
経済学関連科目群	: 経済に関連する幅広い知識を学び広い視野で物事を捉える能力
経済分析科目群	: 経済データを選択・収集・処理し、分析的に考察する能力
政策科目群	: 経済現象、経済の歴史・制度、政策を分析的に考察する能力
国際経済科目群	: 国際的な経済現象とその課題を分析的に考察する能力
演習科目群	: 課題を発見し、他者と協調して、解決に向けて行動する能力
表現力科目群、語学力科目群	: 現象や思考を記述・表現することを通じて他者と協調する能力
海外経験科目群	: グローバルに経済現象を考える能力
EXP科目群	: リーダーシップを発揮して様々な問題の解決への道筋をつける能力

【年次配当】

1年次においては、経済学の学修を始める上で必要とされる科目が配当されています。「マクロ経済学入門」「ミクロ経済学入門」「入門ゼミ」「情報リテラシー」「日本語表現」は、必修科目（10単位）としてすべての学生が修得し、その他に1年次に学修しておくのが望ましい科目を選択必修科目として6単位以上修得します。2年次では、経済学の中心的な分野を集めた基幹科目の中から選択必修科目として20単位以上を修得します。3・4年次では、「経済分析」「政策」「国際経済」のそれぞれに関連する展開科目を中心に選択科目を履修します。また、2年次秋学期からは、少人数で個別の専門テーマを能動的に学修する「演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を選択できます。

【履修モデル設定】

経済学部における専門教育課程のカリキュラムでは、体系的・整合的に学修を進められるように3つの履修モデル「経済分析モデル」「政策モデル」「国際経済モデル」を提示し、規範的な履修方法を示しています。これらのモデルは、専門的関心や将来の目標にあわせて、1年次から4年次まで専門科目とジェネリック・スキル科目を組み合わせた無理のない修得方法となるように設定されています。

【特徴的な科目】

経済学部の特設教育課程では、講義科目と演習科目を組み合わせた学修を勧めています。演習科目では、専門テーマに関する基礎的知識を定着させるとともに、課題解決に必要な方法を修得することで現実社会で必要とされる思考力、判断力及び表現力を有する人材の育成を目指しています。

語学力、表現力、海外経験及び資格等、すべての社会人に求められる汎用的なスキルを身につけるための科目をジェネリック・スキル科目として開講し、中でも EXP 科目は、企業幹部や上級公務員として能力を発揮しうる人材育成を目的としたキャリアプログラムであり、確かな就職に向け、学生一人ひとりに向き合ったきめ細かな支援を行っています。

【初年次教育】

初年次教育として、全ての学生が、「情報リテラシー」「日本語表現」「入門ゼミ」を必修科目として履修することになっています。「情報リテラシー」と「日本語表現」を履修することで、大学教育を受けるための基礎的知識と技術を修得することができます。「入門ゼミ」では、少人数クラス編成とし、経済学部での学修を円滑に行うためのスタディスキル及びアカデミックスキルの修得並びにプレゼンテーション力及びコミュニケーション力の育成を目指しています。

【成績評価】

各科目の授業は、シラバスで公表している授業概要と学修到達目標に基づいて行い、シラバスに明記されている方法・基準で厳格に評価を行います。

経済学部では、授業支援システムの活用と履修相談会の開催によって、各学生の学修の進捗状況を把握して適宜アドバイスを行う体制を整備し、学生が、カリキュラムと調和した学修を行えるように PDCA サイクルを意識したガイダンスを行います。